

機械器具 25 医療用鏡
管理医療機器 単回使用電気手術向け内視鏡用スネア 38827000
ディスプレイザブル ポリペクトミー スネア

再使用禁止

【警告】

使用方法

- (1)ディスプレイザブル ポリペクトミー スネア(以下、本品という)を内視鏡に通す際は、ジェネレータの電源を切っておくこと。[不適切な電気アースの使用により患者及び本品が損傷するおそれがある。]
- (2)患者の傷害を防ぐため、モノポーラ電極用ジェネレータ及び本品を使用する前に、患者を適切にアースしていることを確認すること。
- (3)ハンドルのマーキングは、本品のスネアループの収納状態のおおよその位置を求めるための補助として用いること。ポリープ切除は常に内視鏡下で目視観察しながら実施すること。
- (4)ジェネレータの適切な設定が不明な場合は、装置を推奨される範囲より低い出力に設定し、適切な効果が得られるまで出力を慎重に上げていくこと。電気的手術の効果は、電極のサイズと構造に大きく影響されるため、各設定条件下で、実際に得られる効果を正確に予測することは不可能である。医学文献によると、通常、40～50W の出力設定が一般的である。
- (5)推奨されるモノポーラの設定や技術に関しては、最新の医療情報を確認すること。

【禁忌・禁止】

1. 使用方法

一般的な内視鏡的ポリープ切除術に認められる禁忌と同様である。

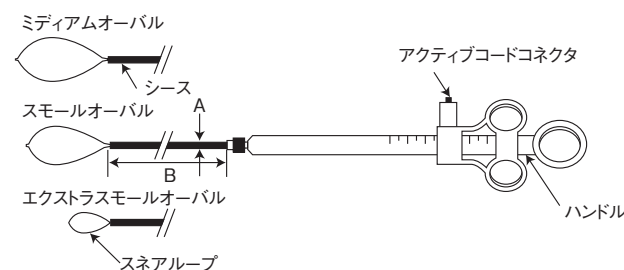
2. 再使用禁止

- (1)本品は、一回限りの使用とし、再使用、再処理、又は再滅菌は行わないこと。[医療機器の構造上、支障が生じる可能性があるとともに、医療機器の故障、ひいては故障が原因となって患者の傷害、疾病あるいは死亡が引き起こされる可能性がある。また、医療機器が汚染される可能性とともに、患者の感染や交差感染が引き起こされる可能性がある。また、医療機器が汚染された場合、結果的に患者の傷害、疾病あるいは死亡につながる可能性がある。]
- (2)本品は、エチレンオキサイドガスによる滅菌済みの状態で供給される。滅菌包装が破損している場合は、本品を使用しないこと。

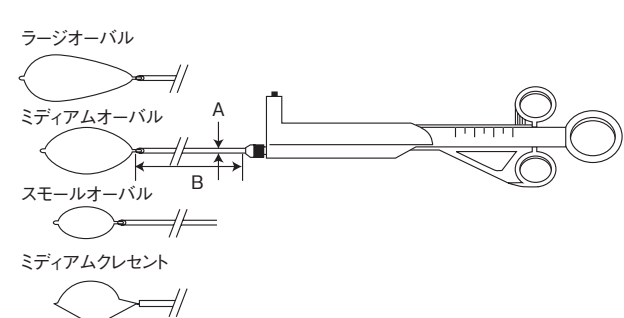
型番	種類	ワイヤ型式区分	適合鉗子口径 [mm]	A：シース外径 (挿入部最大径) [mm]	B：有効長 [cm]
M00562531	(1)プロファイル	エクストラスモールオーバル	2	1.8	240
M00562551		スモールオーバル			
M00562571		ミディアムオーバル			
M00562651, M00560301	(2)センセーション	ラージオーバル	2.8	2.4	240
M00562671, M00560311		ミディアムオーバル			
M00562691, M00560321		スモールオーバル			
M00560331		ミディアムクレセント			
M00562451	(3)キャプチャーター	スモールヘックス	2.8	2.4	240
M00561291		エクストララージラウンド			
M00562301		スモールオーバル			
M00562321		ミディアムオーバル			

- ・電撃に対する保護の程度による装着部の分類：BF 形又は CF 形装着部
- ・組み合わせて使用する機器（ジェネレーター）の条件：BF 形又は CF 形装着部を有する機器であること。

(1)プロファイル



(2)センセーション



****【形状・構造及び原理等】**

本品は、ワイヤーケーブルとループ状ワイヤー（スネアループ）からなり、ハンドルの操作によりシースからスネアループを出し入れできるようになっている。シースの内側にはコーティングが施され、シースからスネアループを出し入れする際の抵抗を低減している。内視鏡を通して挿入し、単極電流を用いて、スネアループで組織を切除、焼灼できる。また、本品はハンドル形状の違いにより、以下の 3 種類があり、それぞれに 3～5 種のループ形状を有する。

(3)キャプチベーター

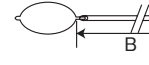
エクストララージラウンド



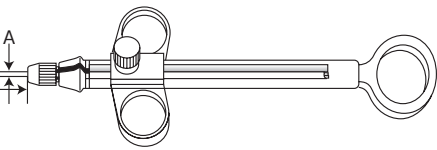
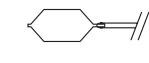
ミディアムオーバーバル



スモールオーバーバル



スモールヘックス



** <原材料>

ステンレススチール、シリコン、ポリテトラフルオロエチレン、エチレンテトラフルオロエチレン

【使用目的、効能又は効果】

本品は、内視鏡治療時に高周波電流を利用して、消化管内のポリープを切除、焼灼する内視鏡用スネアである。

【品目仕様等】

- (1)表面及びエッジ(JIS T 1553：2005 の 4.1 項のとおり)
表面には、穴、き裂及び加工薬剤の残留物があつてはならない。
- (2)挿入部最大径(JIS T 1553：2005 の 4.2 項のとおり)
挿入部最大径は本添付文書に記載された値よりも大きくしてはならない。

【操作方法又は使用方法等】

●使用前の準備

- (1)包装を開封し本品を取り出す。
- (2)本品のキンク、スネアループのすりきれや製品全体に異常がないか目視で点検する。破損が見つかった場合は使用しないこと。
- (3)本品を内視鏡に挿入する前に、フィンガーリングを前後方向に数回スライドさせて操作性をテストする。スネアループがシースの先端部から完全に出し入れできることを確認する。

●使用方法

- (1)ポリープ切除に先立ち、病変を確認し内視鏡を標的部位の手前に配置する。フラッシュ、吸引を繰り返し、視野を明瞭にしてスネアループをかけやすくする。
- (2)適切なアクティブコードをハンドルのアクティブコードコネクタに深く押し込み接続する。コードの反対側をジェネレータに接続する。
- (3)本品を内視鏡に挿入する前に、スネアループをシース内に完全に引き込んでおく。
- (4)内視鏡下でスネアループの先端が目視できるまで本品を押し進め、その後は一般的なポリープ切除術の手順に従う。

●抜去

- (1)内視鏡から本品を抜去する前に、ジェネレータの電源を切ること。
- (2)内視鏡を損傷しないように、本品をゆっくり慎重に抜去する。

<使用方法に関連する使用上の注意>

- (1)破損を避けるため、準備を始める前に本品全体を伸ばしておくこと。
- (2)本品を内視鏡内に挿入する際は、本品や内視鏡を損傷しないように、2～3cm ずつ慎重に押し進めること。
- (3)2.4mmOD スネアには最低 2.8mm、又 1.8mmOD スネアには最低 2.0mm の鉗子口を持つ内視鏡が必要である。
- (4)本品は高周波漏れ電流に対する基準に適合している。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1)本品を使用するには、単極電流式ポリープ切除に関連する技術的原理、臨床適応、危険性を十分理解しておくこと。
 - (2)本品は、内視鏡的ポリープ切除術の訓練を受けた臨床医により、あるいはその指導下でのみ使用すること。
 - (3)本品のスネアループが適切な位置にあることを内視鏡で直接確認すること。スネアループが不適切な位置に置かれていると、患者に損害を与えるおそれがある。
 - (4)本添付文書に記載されている以外の用途に本品を使用しないこと。
 - (5)ペースメーカ又は植込み型除細動器を装着している患者に単極ジアテルミーまたは電気外科的焼灼術を実施すると、心臓デバイスの設定リセット、センサ及び動作不良、体内電極周辺の組織損傷、又はパルスジェネレータの恒久的な障害等を生じる恐れがある。このような患者に本品を使用する場合は、事前に循環器内科医に相談すること。
 - (6)出血性合併症の恐れがある患者には、慎重に考慮した上で使用すること。
 - (7)本品を使用する前に、適切な内視鏡操作を行うため、ジェネレータの使い方や添付文書を再度、確認すること。
- ** (8)使用後は、病院、行政、または地方自治体の定める規制に従って製品を包装を廃棄すること。

2. 不具合・有害事象

本品の使用によって以下の有害事象が起り得るが、これらに限定されたものではない。

- (1)穿孔
- (2)感電
- (3)術直後及び術後の出血
- (4)腹痛、発熱、一過性腸閉塞を伴う経粘膜性火傷

3. 併用医療機器

- (1)520V 以下の電圧でジェネレータを使用すること。
- (2)ジェネレータと互換性を有するアクティブコードを使用すること。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 貯蔵・保管方法

高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。有機溶媒、電離放射線あるいは紫外線などにさらさないこと。

2. 有効期限・使用の期限

本品の包装上に表示されている「使用期限」までに使用すること。

【包装】

5 本／箱入、又は 10 本／箱入

【主要文献及び文献請求先】

1. 主要文献

モノポーラ電極式ポリープ切除術に関する推奨文献

Bennett, J.R. (ED) . Therapeutic Endoscopy and Radiology of the Gut, Chapman Hall, London, 1981.

Cotton, P.B. and Williams, C.B. Practical Gastrointestinal

Endoscopy, Blackwell's Scientific Publications, Oxford, 1982
Hunt, R.H. and Wayne, J.D. (EDS) . Colonoscopy, Chapman
Hall, London, 1982.
Papp, J.P. Endoscopic Control of Gastrointestinal Hemorrhage,
CRC Press, Boca Raton, 1981.
Williams, C.B. Endoscopy Review, Vol II, pp. 12-17

2. 文献請求先

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
エンドスコープ事業部
東京都新宿区西新宿 1 丁目 14 番 11 号 日廣ビル
電話：03-3343-9350

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者：

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
東京都新宿区西新宿 1 丁目 14 番 11 号 日廣ビル
電話：03-5322-3711

** 外国製造所：

コスタリカ ボストン・サイエンティフィック
コーポレーション
[BOSTON SCIENTIFIC CORPORATION]
コスタリカ ボストン・サイエンティフィック デ コスタリカ
エセ エレ エレ プランタ コヨール
[BOSTON SCIENTIFIC DE COSTA RICA,
S.R.L PLANTA COYOL]